

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
プレゼンテーション演習	NLA11_004	選択	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 美智	413	michi.tsutsumi	木曜日 12:10~12:50		
授業の目的・概要	「基礎演習」にて習得する、大学での学習技法 (study skill) を駆使して、与えられた課題に対して、学生が主体となって、積極的かつ能動的に課題解決に取り組む。情報収集とその整理、分析と要約ののち、発表する流れを、実践的な課題解決学習を繰り返す、体験的に学ぶことで、study skill の活用から、学術的な研究技法 (academic skill) への発展を目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	自身の教養力向上を目的としているため、事前学習および討論の準備は各自で行い授業に参加すること。なお、プレゼンテーションの実践に関しては、議論の練習の場であるため、正しい日本語を用いること。人格否定や罵声を浴びせるなどの行為は行わないこと。				
教科書	看護学生のためのよくわかる大学での学び方/監修:前原澄子遠藤俊子/金芳堂				
参考書	必要に応じ講義中に紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	論理的な思考法を身につける		HSU(4)		
②	自分の意見を正確に伝える話し方や言葉遣いを身につける		HSU(4)		
③	根拠に基づく議論の仕方を学び、実践する		HSU(4)		
④	役割分担を通じてグループワークの進め方を学び、実践する		HSU(4)		
⑤	ディベートに必要な資料を収集し適切に活用できる		HSU(2)、(5)、(6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス：授業の進め方について	講義	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	2	
2	プレゼンテーションスキルを学ぶ：書くプレゼンテーションと話すプレゼンテーションについて学ぶ	講義	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。P.49-58	4	
3	自己紹介をパワーポイントにて作成する	講義	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	4	
4	グループ内で自己紹介を行う (お互いに協力し、評価する)	講義 GW	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	4	
5	テーマに沿ったプレゼンテーションの仕方を学ぶ	講義 GW	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	4	
6	成果発表	プレゼンテーション	自己紹介を行うにあたりレポート用紙1枚程度準備をする。	4	
7	成果発表	プレゼンテーション	自己紹介を行うにあたりレポート用紙1枚程度準備をする。	4	
8	まとめ：これまでの授業を振り返り、論理的に分析し、表現することの意義について学ぶ。	講義	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	4	
試					

【教養科目領域/基盤科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	0	40	40	10	10	100
	思考・推論・創造する力	0	20	0	10	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	5	15
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①		それぞれの授業で提示された課題について、評価をする。授業で学んだ書き方を遵守すること。				レポート評価・添削
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	個人がプレゼンテーションの決まりに従って、ワークシートにまとめたものを基に発表を行う。				発表ごとに、教員より講評を行う。学生も評価コメントを書く。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①		使用資料をファイルし提出することで、事前準備が効果的に行われていたかを確認・評価する。				確認したファイルは、コメントして返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①	✓	授業内での取り組み姿勢や意欲を評価する。授業以外の学習や私語に関しては減点の対象となる。				問題のある行動をした学生には、直接口頭で減点することを伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を10年以上有したものである。						
実践的授業の内容	スライドの作成には、授業で修得した Office ソフトとプレゼンテーション技法の知識・技能を活用する。発表内容と方法について教員と学生が評価表を用いて評価し、発表の振り返りと教員による最終評価を行う。						
そ の 他	授業では毎回ノートパソコンを使用するので、必ず持参すること。教室では電源がほとんど取れないので、十分に充電しておいていただきたい。						